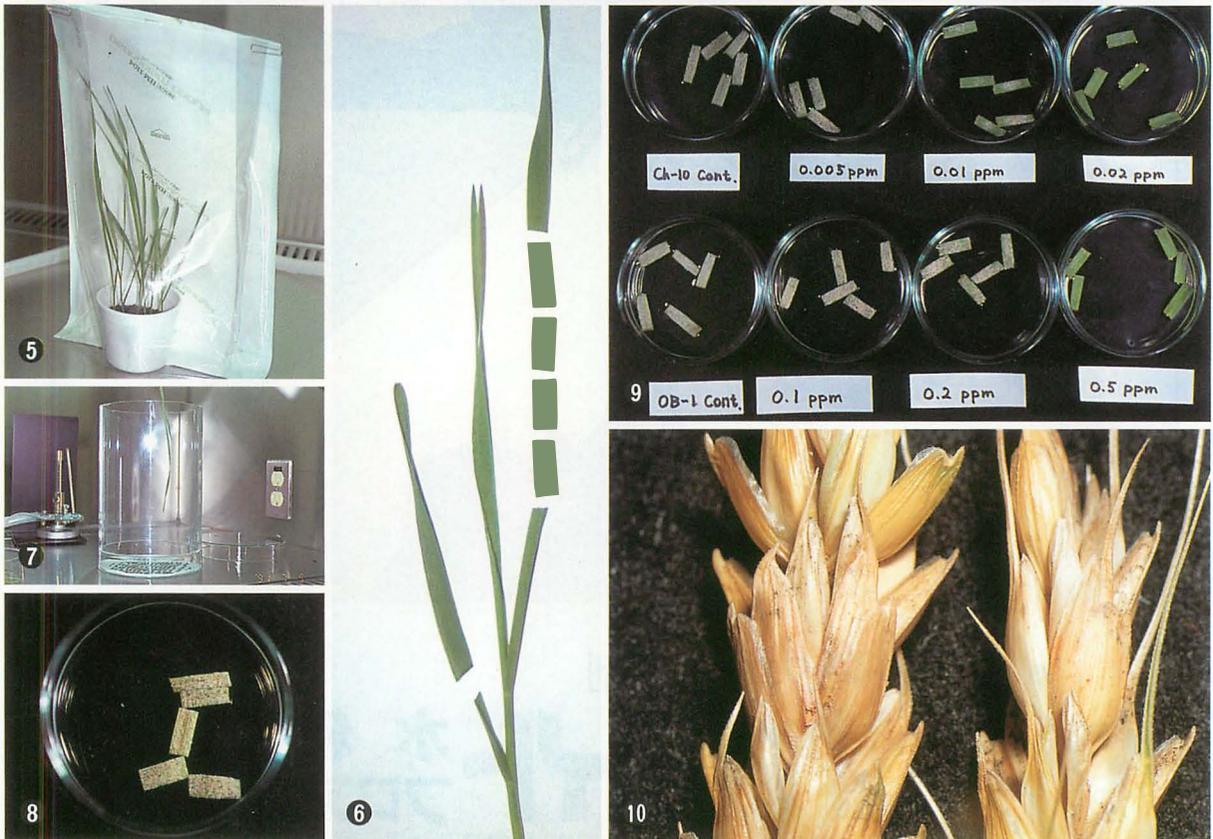


植物病原菌の薬剤感受性検定マニュアル(4) コムギ赤かび病菌・うどんこ病菌
宮島邦之氏・中澤靖彦氏原図(本文38ページ参照)



①ダイズ葉上のヒメハダニカブリケシハネカクシ成虫 ②卵(右下)を被覆するヒメハダニカブリケシハネカクシ雌成虫 ③ナミハダニ(赤色型)の雌成虫を捕食するヒメハダニカブリケシハネカクシ3齢幼虫 ④ナミハダニ(黄緑型)の卵を捕食するハダニカブリケシハネカクシ3齢幼虫 ⑤メッキンバッグ®を利用したコムギうどんこ病菌の培養 ⑥播種14日後の子ホクコムギ苗からのリーフセグメントの切り出し ⑦クリーンベンチ内でのアクリル製円筒を用いたコムギうどんこ病菌の接種 ⑧接種6日後の無処理区の発病(うどんこ病菌がリーフセグメント全体を覆っている) ⑨高感受性菌(上段)と低感受性菌(下段)のトリアジメホンに対する感受性の差 ⑩コムギ赤かび病 左: *F. graminearum*、スポロドキアが厚く桃色を帯びる 右: *F. nivale*、スポロドキアが薄く橙色を帯びる



①グラジオラス (品種: パイオレッタ)

②ウイルス病による葉の被害

③ウイルス病による花の被害

④グラジオラスアザミウマ: 越冬中の成虫、
前蛹とその吸汁痕

⑤同: 寄生による花の被害

⑥同: 被害花 (花の出すくみ症状)

⑦同: 被害花 (白系統は汚れが目立つ)

⑧同: 成虫とその被害痕

⑨ヨトウガ若齢幼虫と葉の食害

⑩茎内食入のフキノメイガ幼虫

⑪ハダニによる被害

(関連記事37ページに、写真提供①: 本図
竹司氏 (茨城園研) ②~⑪: 中垣至郎氏)